



健康百科

## アタマジラミ/シラミ

シラミは、戦中戦後は非常に多かった感染症ですが、D D TやB H Cなどの有効な殺虫剤の使用によりほとんど消滅しました。しかしそれらの薬剤の使用禁止に伴い、再び増加し、幼稚園や小学校で集団発生するようになりました。

子どもに多いのはシラミの中でアタマジラミですが、その発生には特に季節的な原因はなく、一年中発生します。アタマジラミは、子ども同士で頭が触れ合う際に、頭髮から頭髮へと直接接触する形で簡単に感染します。

例えば、小さなゲームの画面を、頭を寄せ合って見るとき、プール授業の着替えの際に、狭い更衣室で頭と頭がぶつかり合うとき、幼稚園や保育園で隣り合ってお昼寝をするとき、兄弟や親子が川の字になって寝るときなどに感染しやすいのです。タオルとくし、帽子、寝具などは共有しないようにします。

アタマジラミは頭皮から血を吸って生きているため、寄生していると多くは激しいかゆみを感じます。1カ月に卵

を100個くらい産み、大量に発生します。かゆみがない場合もありますが、この場合は発見が遅れがちになります。

アタマジラミは成虫の体長は2〜4mmなので、時々大人がシャンプーを手伝い、アタマジラミがいらないか、卵がないか確認しましょう。

アタマジラミは、清潔にしておいても感染しますし、一人だけが駆除してもまたすぐうつる可能性があります。集団の中で発生したら、みんなで駆除しなければ感染を食い止めることはできません。



## 話し掛けた

すくすく子育てチャイルドケア

身近な犬や猫の赤ちゃんは、ヒトと同じ哺乳動物ですが、生まれて間もなく空腹になると、自分から母親を求めて母乳を飲み、寒ければ母親に身を寄せます。

これらのヒト以外の動物は、生きていくために必要なことは、生まれたそのときから自分でできるので、かなり早い時期に親から離れて自立してしまいます。

ところが人間の赤ちゃんは、自分で何をすることもできないので、空腹になっても寒くても、泣くだけです。それに対してお母さんは、そのときの声や様子から空腹かと判断したら、赤ちゃんを抱っこして乳を飲ませてあげます。

なかなか眠れないようだと思ったら、抱っこして優しく声掛けをすることもあてましょう。



ところが実際には赤ちゃんの希望とお母さんの手のかけ方が必ずしも一致しないことがあるから、いつまでも泣いてお母さんを困らせることがあります。

しかしこのようなことも、初めのころだけで、いろいろと相手をしているうちに、だんだんと赤ちゃんの様子で、どうしたのかなと考えて分かるようになるので、何かと相手をしてあげましょう。そしてそのようなときは、いつも優しい言葉掛けをしてあげましょう。

赤ちゃんは、お母さんのいつもの優しい聞き慣れた声が大好きなので、それだけで赤ちゃんは落ち着いていくことでしょう。

というのも、お母さんの声は赤ちゃんが長い間育つていたお母さんのおなかの中で、いつも聞き慣れていた声だったからです。生まれてから耳に入るお母さんの声は、赤ちゃんにとってこれほど気持ち満足させることはないのです。

赤ちゃんの泣きには何かの原因があるにしても、大好きなお母さんの優しい声を、待っているのかもしれない。